



学校だより 10月

四箇郷北小ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/sikagokita/index.html>

家族の力

一すてきな子育ての方法一

学校長 貴志 年秀

ここ数日、素晴らしい秋晴れに恵まれ、運動会本番に向けて、各学年の演技練習も急ピッチで仕上がりました。

台風 17 号の接近で天候が心配な日曜日の運動会ですが、子どもたちのパワーで何とか最後まで無事にやり終えられることを祈っています。

さて、運動会は年間で最も来校して下さる方々が多い学校行事です。朝早くから起きて家族分のお弁当をつくったり、開門と同時に座席を確保したりして、開会式から閉会式まで子どもたちの演技に大きな拍手をおくってくださいます。お家の方々の大きな愛を感じるのが運動会です。

お家の方々の子どもに対する愛情、それは“家族の力”という言葉に置き換わるのでしょうか。この“家族の力”こそ、子どもたちが成長していく上でなくてはならないものだと思います。

今年の夏、ロンドンオリンピックで活躍した選手のお父さんやお母さんも、トップアスリートたちを育てるために、様々な“家族の力”を発揮したようです。今日はその一部を紹介しましょう。

【体操；田中3兄弟を育てた父章二さん】

体操一家とは言え、子どもと家の中で体操の話をするのはほとんどなかった。それが父章二さんのポリシーだった。普段体操の話をしていない分、自ら考えて、創意工夫するような子育てを徹底してきた。家に電池で動くおもちゃはほとんどない。流行のゲーム機も与えなかった。容易に出来上がったものを手にしては自分で工夫しなくなるという考えからだった。長男和仁、長女理恵、次男佑典が様々な苦難を乗り越え、ロンドンに出場できたのは、常に自分自身で考え行動するという小さい頃からの習慣があったからだろう。

【レスリング；吉田沙保里の母幸代さん】

08年1月19日、中国で行われた女子国別対抗戦W杯で沙保里が米国選手に敗れ、自身の連勝記録を119で止められたとき。

思いもよらない敗戦に、電話口で号泣し、言葉にならない娘に、母幸代さんはあえて言った。

「あなたに負けた人も、泣いていたんだよ。今までずっと勝たせてもらったってことは、それだけほかの人が泣いているんだよ。泣いている場合と違うやろ。一度負けたぐらいでクヨクヨするな！」

沙保里はこの母の言葉で立ち直り、新たな連勝記録をつくっていく。

【女子サッカー；澤穂希の母満壽子さん】

小2から本格的にサッカーを始めた澤は、男の子に混じってメキメキその実力をつけていった。ただ、それに比例するように、同性・異性からのねたみも激しさを増した。上履きをハサミやカッターで切られたり、教科書を隠されたり、髪留めをとられたこともあった。ある時、試合で相手チームの男の子の執拗なラフプレーにあった澤が激高した。そんな澤に満壽子さんはこう言った。

「穂希ちゃん、あなたがサッカーで生きようと思うなら、頑張るって有名な選手になって、あの子を見返してやりなさい。澤穂希はこんなにすごくて有名な選手になったんだぞってね。」

この言葉が、澤選手の栄光のサッカー人生の出発点となった。

この3家族に共通するのは、お家の方々の子育てに対する強い信念であり、ぶれない心です。「こういう子どもに育ててほしい！」と強く思い、そのために時には褒め称え、時には叱咤激励する。

それに応え、立派なアスリートに成長した子どもたちも素晴らしいですが、この子たちを支えた“家族の力”に改めて感心し、見習うことが多いと思います。

(参考文献) 家族の力 ―トップアスリートの家族の本音― 日刊スポーツ新聞社 編

10、11月行事

日	曜	予定
10/1	月	運動会振替休日
2	火	登校指導 視力検査6年
3	水	委員会 視力検査1年
4	木	5年尿糖検査 視力検査2年
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	体育の日
9	火	あいさつ運動 視力検査3年
10	水	視力検査4年
11	木	移動図書館 視力検査5年 絵本読み聞かせの会来校
12	金	秋の遠足
13	土	子どもセンター(まが玉作り)
14	日	
15	月	修学旅行
16	火	修学旅行
17	水	P見守り隊(保体部)
18	木	ふれあいお食事会(4年出場)
19	金	就学時健診(5年生以外13:10頃下校) 頭髪トークの日
20	土	市陸上大会(和歌山大学にて)
21	日	敬老福祉大会
22	月	
23	火	学校保健安全委員会
24	水	先生 午後研修のため 全学年 13:10頃下校
25	木	参観・懇談 移動図書館 絵本読み聞かせの会来校
26	金	集会(1・3年)
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	
11/2	土	文化の日 私たちのくふう展(フォルテワジマ)
3	日	私たちのくふう展(フォルテワジマ)
11	日	日曜参観
12	月	振替休業日
16	金	観劇(天満のとらやん)

11月は主な行事です

♥実りの秋、穀物で代表されるのがお米。日本の生活においては、単なる食糧品にとどまらず古代から稲作信仰に代表されるように、とても大切なものとして扱われてきました。日本各地で行われるお祭りではお神酒と並んでお米も供え物として使われてきました。そのお米も料理に使えば、和食、洋食、中華などいろいろ使えます。炊いてご飯にして食べる以外にはみそやあられ、せんべい、和菓子の材料として使われていることは、知られています。これ以外にも、ビールの材料の大麦にもお米を加え、味を良くすることもあります。また、最近では、お米を精米するときに出る「米ぬか」にふくまれている油を使って、洗剤も作っています。お米はいろいろな物に変身できるのですね。一度変身したお米をスーパーで探してみませんか。

◆就学時健康診断 来年度、本校に入学する児童68名の健康診断(就学時健診)を10月17日(金)に実施します。かわいい子どもたちの入学が今からとっても楽しみです。健診に伴い当日は、1~4年生と6年生の児童は、給食終了後下校となります。5年生は、新人児の引率等お手伝いをさせていただきます。よろしく願いします。

